

# カリキュラム比較

【就業支援担当者研修モデルカリキュラム】

科目	内容	形態	分
1 障害者雇用の現状及び障害者雇用施策の概要と支援センターの役割	①障害者雇用の現状と障害者雇用施策の概要	講義	120
	②障害者就業・生活支援センターの位置づけ、機能、役割等		

【基礎的研修カリキュラムイメージ】

科目	内容	形態	分
1 就労支援の理念・目的、障害者雇用の現状と障害者雇用・福祉施策	③国の障害者雇用施策の体系や各種制度	講義	80 ※
	④国の障害者雇用の状況		
4 就労支援機関の役割と連携	①就労支援を実施している機関の役割と業務内容（ハローワーク、地域障害者職業センター、障害者就業・生活支援センター、就労系障害福祉サービス（就労移行支援事業所等）、医療機関、教育機関等）	講義	60 ※

科目	内容	形態	分
2 障害特性と職業的課題	①知的障害・発達障害の障害特性と職業的課題	講義	60 ~
	②障害者就業・生活支援センターにおける支援方法等(事例紹介)		120
	③精神障害の障害特性と職業的課題		60 ~
	④障害者就業・生活支援センターにおける支援方法等(事例紹介)		120
	⑤身体障害・高次脳機能障害の障害特性と職業的課題		60 ~
	⑥障害者就業・生活支援センターにおける支援方法等(事例紹介)		120

科目	内容	形態	分
5 障害特性と職業的課題Ⅰ	①身体障害・高次脳機能障害・難病の職業的課題、特性に即した支援方法、留意事項、合理的配慮の事例	講義	60
6 障害特性と職業的課題Ⅱ	①知的障害・発達障害の職業的課題、特性に即した支援方法、留意事項、合理的配慮の事例		60
7 障害特性と職業的課題Ⅲ	①精神障害の職業的課題、特性に即した支援方法、留意事項、合理的配慮の事例		60

※科目全体の講義時間を記載しており、一部抽出した内容のため実際の講義時間は少なくなることに留意

# カリキュラム比較

## 【就業支援担当者研修モデルカリキュラム】

科目	内容	形態	分
3 就業支援におけるケアマネジメント	①ケアマネジメントの理念	講義	120 ～ 180
	②就業支援のプロセスと就業支援担当者の役割		
	③職業準備性の考え方		
	④アセスメント方法 障害者就業・生活支援センターにおけるケアマネジメントの実際		

4 労働関係法規の基礎知識	①労働基準法、最低賃金法等の基礎知識	講義	60 ～ 120
---------------	--------------------	----	----------------

## 【基礎的研修カリキュラムイメージ】

科目	内容	形態	分
1 就労支援の理念・目的、障害者雇用の現状と障害者雇用・福祉施策	①就労支援の理念と目的（支援者としての共通した目的、福祉的就労と一般就労） ⑥就労支援の基本的な考え方（働くことの意義の理解、就労支援の視点、支援者の役割と資質、企業の視点の理解）	講義	80 ※

2 就労支援のプロセスⅠ（インテーク～職業準備性の向上のための支援）	①就労支援のプロセスと手法（支援の基本的姿勢、アセスメントから一般就労への移行の過程） ②インテーク、アセスメント、プランニング ③職業準備性の考え方、職業準備性の向上のための支援	講義	50
------------------------------------	--	----	----

3 就労支援のプロセスⅡ（求職活動支援～定着支援）	①就職のための支援（ハローワークの活用、企業開拓、企業へのアプローチ等） ②職場定着・雇用継続のための支援（障害者・企業双方への支援、実施方法、留意事項、福祉施策の活用や連携） ③加齢等に伴う雇用から福祉への移行	講義	50
---------------------------	--	----	----

科目	内容	形態	分
10 ケースマネジメントと職場定着のための生活支援・家族支援	①就業支援におけるケースマネジメントの重要性 ②生活支援・家族支援の進め方（支援方法、対応例） ③生活支援・家族支援における企業と支援機関の役割分担と連携 ④ライフステージや生活の変化に対応した支援の必要性	講義	60

11 アセスメントの基礎	①相談を行う上での基本的態度や傾聴等の相談技法等 ②アセスメントの目的と心構え ③実施方法と留意事項 ④結果の分析ポイントと活用の仕方	講義	100
	⑤グループワーク。 ⑥モデル事例に即して、アセスメントにおける対象者への聞き取りや観察の内容について検討。 また、把握した情報に基づき、対象者の就労に向けた課題や支援のポイント・方法について整理。	演習	

8 労働関係法規の基礎知識	①労働契約上の留意点（労働契約の締結、労働時間、休憩、休日、賃金、解雇等） ②法律上企業等に加入が義務づけられている労働保険・社会保険	講義	60
---------------	--	----	----

# カリキュラム比較

## 【就業支援担当者研修モデルカリキュラム】

5	関係機関との連携と地域ネットワークの活用	①関係機関の役割・機能 ②地域ネットワークの構築と連携による支援	講義 G 討議	120 ～ 180
6	企業における雇用管理の実際	①企業経営の基礎や企業の視点 ②企業における障害者雇用の考え方と雇用管理 企業の支援ニーズと支援者に求めること ③障害者雇用の現場見学	講義 見学	120
7	事業主支援の基礎理解	④事業主支援の実施方法、実施上の留意事項等 ⑤企業担当者とのコミュニケーションの取り方	講義	60 ～ 120
8	ケースから学ぶ就労支援プロセスの実際	⑥就労支援の一連のプロセスを含むモデル事例のケーススタディ (支援の流れと各支援内容、制度の活用の仕方、障害者就業・生活支援センターの関わり方、関係機関の連携の仕方等を学ぶ)	事例 検討	120 ～ 180
該当なし				

## 【基礎的研修カリキュラムイメージ】

科目	内容	形態	分
1	就労支援の理念・目的、障害者雇用の現状と障害者雇用・福祉施策 ②障害者福祉施策（就労系障害福祉サービス）の体系や概要 ⑤雇用施策と福祉施策との連携（福祉・教育・医療から雇用への流れ）	講義	80 ※
4	就労支援機関の役割と連携 ①就労支援を実施している機関の役割と業務内容（ハローワーク、地域障害者職業センター、障害者就業・生活支援センター、就労系障害福祉サービス（就労移行支援事業所等）、医療機関、教育機関等） ②就労支援ネットワークについて（ネットワークの重要性、ネットワークの構造・構築の手順等）	講義	60
13	地域における就労支援の取組 ○グループワーク。 ①受講者の所属機関における各種支援の取組 ②関係機関との連携、ネットワークの活用状況 ・①②に関連するテーマについて意見交換。	意見 交換	90 ※
12	企業における障害者雇用の実際 ①企業の障害者雇用の担当者からの講義。 ・企業における障害者雇用の考え方や実際（障害者である社員が従事している職務の内容、雇用管理の方法、職場内支援体制、合理的配慮の内容等）。 ・企業が求める人材（採用時に重視すること、雇用継続に向けて重視すること等）。 ・支援者に求めること。	講義	60
9	企業に対する支援の基礎 ①企業で働くとは ②企業を支援することの重要性 ③障害者雇用をめぐる企業を取り巻く状況（障害者の差別禁止・合理的配慮の提供義務等） ④企業支援のプロセス及び支援手法（企業情報・ニーズの把握、企業内での理解促進への支援、職務の切り出し、地域資源の活用） ⑤企業支援の留意点（企業との信頼関係の構築、企業担当者のメンタルヘルスに関する支援等）	講義	60
13	地域における就労支援の取組 ①グループワーク。 ②モデル事例の内容に基づき、対象者や企業、家族への支援の内容や関係機関との連携などについて検討。	事例 検討	90 ※
14	オンライン形式での講義の振り返り ①オンライン形式の講義のポイントの復習。 ②オンライン形式の講義の質疑応答。	講義	50